

## 熱熱環境講座・大阪湾を考える

蘇鉄山登山 & なにわの海を眺め海の幸を味わおう!

「登山認定証」付き

一等三角点のある日本一低い山、「蘇鉄山登山」と大阪湾クルーズに

堺市漁連高田会長の講演付き 泉だこの蛸飯付き

堺市魚連とれとれ市で海の幸バベキュー

日時: 2008年5月24日(土) 午前10時～午後3時

行程: 堺駅西口⇒神明神社(蘇鉄山登山口)で正式参拝⇒蘇鉄山登山⇒出島漁港から大阪湾クルーズ⇒堺市魚連高田会長の講演「大阪湾の環境と漁業」⇒堺市魚連とれとれ市で海の幸バベキュー

雨天決行と言い切ったものの、空模様が気になる…。一週間前から天気予報に一喜一憂していたが、二日前には雨の公算が高くなった。とれとれ市場の高田部長に確認すると「大丈夫、風さえきつくなければ船は出すよ」という漁師さんの元気なお答え。

果たして、当日は朝から雲行きがよくない。どんよりとして湿気を孕んだ黒雲が幾重にも上空に飛来する。10時前、南海線堺市駅に参加者37名が集合。参加者は雨の為に配布したレインコートとタオルを手に出発!

ぞろぞろと行列を組んで5分、旧堺港に通じる堅川の上にかかる橋は「南蛮橋」の中央には、大柄の南蛮人が川面を眺めている像が佇んでいる。

海に向かって少し歩いていくと川沿いに石碑が二基姿を現す。左側は**堺事件発生**の碑で、明治元年(1868)2



月攘夷論のいまだおさまらぬ、フランス領事一行は大阪から陸路、堺に入ろうとした。外国事務局からその通報の無かった警備の土佐藩兵はこれを阻み、途中で引き返させた。同日夕刻、領事一行を迎えるべくフランス海

軍のコルベット艦「デュプレクス」(Duplex)号は堺港に入り、士官以下数十名の水兵が上陸、市内を徘徊した。土佐藩軍艦府は、警備の藩兵に取締を命じ、帰艦を諭示させたが、言葉が通じず、混雑もあって、水兵側は土佐の隊旗を倒伏、逃亡しようとした。このため、土佐藩側は咄嗟に発砲し、フランス人11人を殺傷または、海に落として溺死させた。遺体は、日本側官憲により16日に引き渡しを終えた。フランス公使レオン・ロッシュは19日、在阪各国公使と話し合い、下手人斬刑・陳謝・賠償などの5箇条からなる抗議書を日本側に提示した。当時、各国公使と軍艦は和泉国・摂津国の間にあったから、明治政府は憂慮し、イギリス公使ハリリー・パークスに調停を求めたが失敗。22日、明治政府はやむなく賠償金15万ドルの支払いと暴行者の処刑などすべての主張を飲んだ。これは、結局、当時の国力の差は歴然としており、この状況下、日本側としては無念極まりない要求も受け入れざるを得なかったものとされるが、捕縛ではなく発砲による殺傷を目的とした野蛮な対応に外国を震撼させた。フランス公使は20名の切腹を要求し、事件に関わった29名の者が現在の大阪府大阪市西区にある土佐稲荷神社で籤を引いて切腹する者を決めた。2月23日(3月16日)、大阪裁判所の宣告により堺の妙国寺で土佐藩士20人の刑の執行が行われた。切腹の場で藩士達は自らの腸を掴み出し、居並ぶフランス水兵に次々と投げつけるという行

為を行った。その凄惨さに、立ち会っていたフランス軍艦長プティ・トゥアール(Petit Thouars)は、(フランス人の被害者数と同じ)11人が切腹したところで外国局判事五代才助に中止を要請し、結果として9人が助命された。一説に、暮色四辺にたちこめ、ついに日暮れるに至り、軍艦長は帰途における襲撃を恐れたからであるという。24日、外国事務局総督晃親王は、大阪鎮台外国事務兼務伊達宗城を伴ってフランス艦に行き、謝意を表し、償金15万ドルを交付した。処刑を免れた橋詰愛平ら9人は、土佐の渡川(四万十川)以西の入田へ配流され庄屋宇賀佑之進預けとなり、その後明治新政府の恩赦により帰郷した。自刃した土佐藩士は堺の妙国寺内にあつく葬られ、遭難したフランス人の碑も神戸市立外国人墓地に建てられた。

右側の大きい方の碑は「**天誅組上陸の地**」の碑で、文久3年(1863)8月、長州藩勤皇派が天皇の攘夷祈願の大和行幸と称して討幕軍をおこすことを企てた。これに呼応した吉村寅太郎ら天誅組が、先回りして討幕軍を迎えようと京都を出発、淀川を下り、大阪湾から堺へ上陸し、大和へ向かって五条代官所などを襲撃した。しかしながら、政変により長州藩勤皇派が失脚し、大和行幸が中止になったため天誅組は追討され壊滅した。雨が降り出した。左手にすこし歩いていくと、堺駅南口近くにある「**神明神社**」の鳥居を潜る。この神社は蘇鉄山の登山口で、蘇鉄山山岳会の事務局でもある。参加者は順場に桶から汲まれた水で手を清め神殿に入り、登山祈願に各自の開運を祈願し正式参拝を受ける。本殿前で記念写真を撮る。



雨は小降りながら、傘を差したり、レインコートを着たりで先を急ぐ。堅川に出て、「堺魚市場」の前を通り、堅川橋を潜ると水門があり、旧堺港にでるが、防波堤沿いに歩くと、大浜公園の入り口の交差点に出てくる。この**大浜公園**は、1903年(明治36年)の第5回内国勸業博覧会開催時に開園した堺水族館や、海水を利用した浴場「大浜潮湯」があった。1923年には潮湯の余興として大浜少女歌劇が創設され人気を博すが、1934年の室戸台風で大浜公園が壊滅したため同年に解散。短命に終わった。また、阪田三吉と関根金次郎が将棋を行った一力楼という料亭があった場所としても知られる。

江戸時代に開催されていた魚市場跡に近いことから、毎年夏には堺大魚夜市が開催されている。公園内に明治18年(1885年)に約300m東南にあった御蔭山の頂に近代地図作成のための基準点となる一等三角点が設定され、御蔭山が削られ昭和14年(1939年)にこの蘇鉄山の所に移設され、標高6.84mで日本一低い一等三角点を持つ山として知られる蘇鉄山がある。明治天皇も登山をし、公園内に明治天皇巡幸記念碑がある。学生相撲の発祥の地で、現在でも大会が開催される相撲場や野球場、体育館、プール、グラウンド、猿島などを中心



とした地域公園となっている。  
大浜潮湯は戦前、美章園温泉（大阪市阿倍野区・2007年廃業）、源ヶ橋温泉（大阪市生野区）とともに「大阪3大温泉」と称された。東京駅・日本銀行本店・中之島中央公会堂も設計した明治時代の名建築家・辰野金吾が設計した大浜潮湯家族湯の建物は現在も河内長野市の天見温泉「南天苑」に移築されている。

5そして、「蘇鉄山」の登山口へ、三十歩程で傾斜地を登ると広場に出て、その一角に「蘇鉄山 6.8M」という杭と、十字の印がある正方形を包むように、細い溝を挟んで正方形の地中に埋め込まれた石柱を発見！

ここで、神明神社で発券いただいた「蘇鉄山」登山確認書

世界測地系(測地成果2000)北緯34度34分47秒 8772 東緯135度27分21.02 標高6・85m、1等三角点のある日本一低い山「蘇鉄山」に登頂されたあなたのロマンチック精神と勇気を称え、記念に登山認証をお渡します。

平成20年5月24日 蘇鉄山山岳会

裏面には「堺の大浜公園にある蘇鉄山は大阪湾(ちめの海)に面し、幕末には黒船来航に備えてお台場が築かれたところです。明治・大正・昭和初期には関西有数の海浜リゾート地として海水浴などで賑わいました。

一等三角点は約三百m東西にあった御蔭山(天保年間に旧堺港と水路浚により造山)の頂上に明治18年に制定されましたが、御蔭山平削などで、昭和14年に移築

され、現在も元気で頑張っています。」と明記されている。「蘇鉄山」山頂で記念写真。



蘇鉄山登頂に成功した後は、一路チヌの海を目指す。大浜野球場をへて大浜公園を出て、阪神高速道路4号湾岸線を横切り、道路沿いを5分程歩くと右手に駐車場が広がるスペースに出る。ここが堺漁連が運営する「とれとれ市」。雨が降り出したので、高田会長にも挨拶もそこそこに黄色安全スーツを着て船に乗り込む。出航して間もなく、高速道路の巨大な橋桁の下を潜って旧堺港湾に向かう一行を先ず出迎えてくれるたのは、和式の灯明台にかわって明治10年、堺の大工と石工によってつくられた様式木造灯台の「旧堺灯台」のレトロモダンな姿。

湾内の北大浜公園の先には龍女神像が市内を守るように塔の先に立っている。女神の静かで美しい面差しを眺めながらゆっくりと船で湾内を一周する。大阪の海の神といえば、住吉大社だが、有名な太鼓橋左右に「堺仲間」という名前が刻まれた常夜灯があり、大和川付替以前から「堺の住吉さん」と親しまれていた。現在の住之江(大阪)から堺の大浜・石津・浜寺にかけての海岸線は、万葉の時代から“すみのえの浦”と古代に詠まれていた。大魚夜市は住吉神社の夏越の神事に由来し、鎌倉時代から



堺の魚は天下一品と賞賛され、堺の浜に集った漁民が豊漁と安全を祈願し、魚を庶民に分け与えた神事があつたほど大阪の海は豊かだった。湾を出ると、シャープの堺工場の壮大な工事現場を海から全貌を目にする。教え切れないクレーンが息を切らさず動いていて、景



気の悪い大阪にもこんなに槌音が響いている場所があるのか！と感動！何故か、華麗なる一族の音楽が流れてくるような大規模な工場建設現場は圧巻だった。少し行くと沢山の鵜がペンギンのように羽を休めている。干潟を眺めていると、自然と工業化の進展の狭間に大阪湾が波打っているように見えてくる。経済発展をひた走り目先の利益ばかり



を追求している間に、海は魚類を育むことよりも、工業製品を生産し、輸送する海ばかりが優先されてきたように思えた。食料難の霧がひたひたと迫ってくる気配があるなか、かつて大阪の市民の食料庫であった大阪の海の姿をもう一度見直す時期に来ているかもしれない。いざとなれば、大阪の海は大阪人の海の畑なのだからと考えれば、やるべきことは沢山あるように思えた。少なくとも、市民一人一人が意識して海にゴミは捨てない。家庭排水のあり方からも考えるべきだろうと考えながら船に揺られていた。

堺港に戻り黄色の安全胴衣姿で記念写真をパチリ。



参加者は、安全胴衣を脱いで、堺漁連の建物の中へ、会議室集って高田会長から海のお話を拝聴しました。

講演：大阪湾の環境と漁業

堺市漁業協同組合連合会 会長 高田利男氏

阪神大震災後見る見る海水が綺麗になりすぎた大阪湾

高田です。堺で生まれて、横浜で育ってまた帰ってきて小学6年生位から大阪湾で魚とりの魅力にとりつかれ、魚とりほど面白いものはないと子供心に刻んでから、この歳になっても漁師として魚をとっています。私も道楽については、人に負けないほど道楽をしてきた男でして、特に漁業については興味があるので、百数十回ほど世界中を釣竿を持って出かたり、魚場や漁法を見て回りました。ヨーロッパ以外は、アマゾンの奥からシベリアやサファリンなど過酷なところまで釣竿を担いでブラブラと世界を見て回ってききましたのでお話することはいくらでもあるのですが、今日は大阪湾の昔と今について課題でお話をさせていただきます。

大阪湾は、経済成長の一時期は工業地帯が広がり海を完全に汚染された時もあります。獲った魚も油臭く、釣糸も真っ黒になるという汚染された時代が今から数十年前にありました。最近では、どうしたことか、阪神大震災以降、見る見る内に綺麗になってきました。綺麗になりすぎて、魚が少なくなりました。



大阪湾はもともとはアメリカンコーヒーくらいの色が魚にとって一番いい水なんです。今青い水になって海の底も見えるようになりました。今日は雨が降って濁っていますが、この湾の中も天気の良い日には底がよく見えます。そうしたら、海底はゴミだらけです。空き缶や冷蔵庫にテレビや自動車のタイヤはゴロゴロと至る所に転がっている状態です。現在、大阪湾の漁獲高は、水揚げ重量とも統計を取ると日本一なんです。東京湾と大阪湾とよく似た立地条件なのに、大阪湾の方が何故魚が多くいるかというと、東京湾は木更津から横須賀の間の一つの口しかありませんが、大阪湾には、明石海峡と淡路と紀州に向かって三つの口があります。大阪湾は、三つの口から水が流れ込んでミキサのように混ざっています。また、不思議にこの数十年室戸台風やジェーン台風のような大きくて恐ろしい台風が紀伊水道から入って来ていませんので海底が安定しすぎて、魚貝類は減少しています。何故、減少しているとわかるかというと、板漕ぎといって二枚の板を水圧を利用して広げる底引き網と、ゲタ引きという底引きは泉佐野・岸和田を中心に行っているのですが、海の底をゲタでかき混ぜるといって漁法を行っていますが、獲った魚も売れないけれど、ゲタで海の底をかき混ぜないと海底に住んでいるシャコとかアナゴや蟹などは生まれ育たないのです。だから、魚を獲らないでも海を耕しているのです。漁師が漁師を頼んで、何とか海を耕してくれという状態が続いています。

### 堺のシャープ工事建設地は蛸の産卵場所

魚漁について十四点五歳違いの私の子供みたいな年頃の弟に後を引き継いでもうらおうと思って、いろいろ教えています。今まででしたら、四反の網を買って魚を獲れば、親子五人くらいの生活をする収入になったのですが、今は十反でも親子五人は生活できません。昔の網でしたら、修理しながら何度も使えたのですが、今では修理したような網には魚はかかりません。人間より魚の方が知恵が発達しているのではと思うほど、魚が賢くなっています。

今はアナゴのシーズンです。大阪湾の穴子は、浜寺から西宮の沖くらいまでの方が太くて私みたいに短くて脂がよくのっています。味もよくて高価で売れるのです。それは、淀川の水、大和川の水が大阪湾を日本一の魚場として作り上げていると思います。三日前にも東京に行っていたのですが、昔は汚かったのですが隅田川の水は綺麗で、東京の水は何処をみてもよく管理されています。大阪は綺麗ですが、堺はよくありません。堺は大和川の入り口で一番魚が生まれ育つ場所でありながら、堺の下水ですべての魚が育たなくなりました。今鰻のシラスは、今年は1キロあたり一番値段が高いときは、六十万円くらいしたのですが、鰻のシラスもだんだんのぼらなくなって、今年も一番獲った人でも一晩で十万位に落ちこんでいます。鰻のシラスは冬場の漁師の生活の糧としているのです。先ほどもごらんいただいたとおり、シャープの工場の大規模な工事が始まったので、すべての魚がいなくなりました。シャープが工事している水路は蛸の産卵場所なのです。何故蛸の産卵場所かというと、大和川から入ってくる綺麗な水が入り一番動く場所で、入った水は関西電力のタービンの冷却の為にちょっとした川位の膨大な水を吸い込んで浜寺に流されていきます。ですか

ら、シャープの工場の建設が早く進んで早く海が静かになってほしいなあと願っています。今は昔みたいに企業がきてから魚が獲れなくなったからと漁師が棒を振り回して暴ると、嫌われるのは逆に漁師です。大阪府や堺市の発展の為に辛抱しようやないかという状況で、魚が獲れないので港に船を泊めたままであまり動いていません。

### 海と命を再生させる砂浜は自然の治癒力を上げる

蛸は堺の旧灯台のあたりまで獲れます。蛸は絶対に水の汚い場所を嫌います。魚は沖にいけばいくほど居るとおもったら大きな間違いで、大阪湾に住む魚は回遊魚では一番よく取れるのはフェリー乗り場から南港の入り口、新島の内側など陸に近いところです。魚が獲れないといって、何でここで「とれとれ市」をやるのかというと、漁師も年寄りになると魚についていけなくなって獲れなくなります。若い漁師は、頑張っただけで魚についていって獲っていますが、網も一日三回入れないといけないところが体力的に一回に減ったりと漁獲は減っているのです。しかし、今日鵜が一杯いた堺の干潟は大阪府に干潟を作り、大和川の留まる場所に砂浜を作ってもらって両岸から砂浜にして、潮が引いた時は子供や老人が膝まで服をめくれば干潟まで歩けるようにしています。先ず砂がほしいのです。砂さえあれば海は生き返ります。砂は濾過作用と様々なプランクトンからバクテリアから虫類が生きるような要素があるんですね。波は砂浜に上がったらスーッと吸い込んで残った分だけ海に帰るといって動きを三百六十五日繰り返すから、人口的な濾過装置を作るよりも、浜辺を作ってくれと声をあげているのですが、行政はなかなか作ってくれません。国交省が明後日から大和川の浚渫をやるのですが、大和川の砂は海の砂浜には使えません。丘の砂なら干潟に入れると見ている間に、キスやハゼやガッコなど昔の懐かしい魚が戻ってきて育つのですが、大阪府も資金不足で二割か三割減のペースになってきて中途半端なものでは、大きな環境改善は望めないと思っています。

### 離婚率の高くなった蛸に戻ってきた穴子やアコウ

ただ嬉しいことは、穴子や高級後のアコウなど回遊性のある魚が戻ってきてくれるようになったことです。ガシラも戻ってきましたが一般の漁師では獲れません。髪の毛のような細い糸の網を石の上に叩きつけるにして獲る漁法で漁師も捨て身で、網と交換するような気持ちでないと獲れないガシラも戻ってきました。修理した網では一匹も獲れないほど魚が賢くなってきました。そういえば、蛸まで変わってきました。陸の人間の夫婦の世相と一緒にですが、蛸は昔は夫婦でピッタリと離れないで生活していました。蛸壺の中にメスがいたらオスが上に一緒にいて、釣り上げても二匹一対になって離れず、離そうとしても離れないほどだったのですが、最近は、捕まりそうになると捕まえられた相手をほって一匹だけあつけなく逃げていくことが多くなりました。二匹だと五キロくらいあって重たいのですが、釣れたら慌てて蛸壺に手を突っ込まないと相方を捨てて一匹だけで逃げられることが多くなりました。時代かなあ・・・。

私とこは、蛸と穴子とガシラ以外は獲りませんので、それ以外は網に掛かってもみんな海に返します。他の魚を市場に持って行って、後の処理をしていたら寝る間がありません。蛸や穴子やガシラは水槽で生かして、土日にとれとれ市に出すようにしています。土日は御蔭さまで沢山の人が来ていただいているので、いくら魚を獲っても足りないというほどです。今年で二十八年目ですが、子供たちをボランティアで丸太漁船が、景気のいい頃私も若い頃から、身体障害者の方やボーイスカウトやガールスカウトたちを船に乗せて案内していたら、自然に小学校まで広がり、年

間多いときには四千五百人の子供たちを案内しています。沢山の子供たちを案内してあげたいのですが、原油の高騰しているので抽選にして春二十校、秋二十校ほどの案内を続けています。昔私が乗せて案内した子がお孫さんを連れて来てくれたのは嬉しかったですねえ。

### 質問コーナー

#### (^・^ ) 明石の蛸は大阪の蛸だと聞いたのですが？

明石の蛸は大阪で生まれ育つんです。盆が早くくれば大阪の漁がおわり、遅く来れば遅く終わるといほど、盆まで大阪にいて、大阪湾の蛸の約八割以上が明石海峡向かって、蛸はジェット機のように泳ぎは飛ぶように早いので一斉に岩場などに隠れている蛸が明石に向かって飛び出すので、その地にドカ獲りします。そして、明石で育った蛸が産んだ卵が西風や潮に乗って大阪湾に流れ着きます。大阪湾内の温度は工業排水などで高いので生まれるのも早いです。

また神戸では釘煮として有名な“いかなご”も、データがでるのですが、今年は大阪湾で六割かなあ、明石の西側で六割かなあというの、冬の風でわかります。冬の北西の風が吹けば吹くほど大阪湾のいかなごの漁獲高が多く、寒くない冬で北西の風が吹かなければ大阪湾は不漁だとはっきりとしたデータがでます。今年北西の風が吹いて卵が大阪湾に多く流れ込むのでいかなごが沢山獲れるはずだったのに、明石でタンカーが沈み重油が流失したので今年の“いかなご漁”はすべて中止になってしまいました。水産試験場のデータでわかるので、今年は大阪湾でのいかなご漁がいいと連絡し合っていて楽しみにしていたのですが、全体で五十億円ほどの大きな損失になりました。

#### (^o^ ) 関空は大阪の漁業に影響ありますか？

一時は影響があるように思っていて、四つの魚連の中で組合長していた私が反対していました。今も関空の周辺は漁業作業禁止区域です。アコウとか、チヌとか伊勢海老やアワビがいて、夜の間に淡路から高速艇で潜水夫が獲りにきます。私たちは関空から遠いのでたいした補償費は払われませんでした。関空から近い地域の漁師には日本で一番高い漁業保障費が払われ、漁師は裕福になったのが今、後遺症になっています。お金があると先ず贅沢します。持ったことがない大金ですから、大きな船に乗り換え高速のエンジンを載せて船にはすべて制御できるコンピュータをいれて自分が動いた所を毎日データに入れておけば、何年後でも自動的に船はその場に行ける様なハイテク船が多くなりました。でも今は景気が悪いし、漁は少ないし、油が高くなると、船を動かすことができません。漁にでるよりも寝ている方がましだというのが、大阪湾の漁師の過半数です。

#### (\*^\_\* ) 昔大阪湾でとれた渡り蟹は？

今の季節は渡り蟹は卵を抱えていて、デコニなっているので、今さっきも若い衆が二匹ほど獲ってきたので、そんなん獲るなよと言ったばかりです。一匹の蟹が何十万個という卵を抱えているし、小さい蟹まで根こそぎ獲るので、漁が枯れていくのが問題です。渡り蟹は蟹の中で一番美味しいし、今も獲れるけれども卵を抱えている時は獲るなど言っています。今少なくなっただけで一匹四千円か五千円くらいして、簡単には食べられません。

#### (^J^ ) 穴子は年中獲れるんですか？

穴子は太平洋から葉っぱ状のシラコがきて、今は白魚ほどの大きさです。昔では食べられなかったのに、料理屋で出される「のれそれ」として出され、多く獲られると穴子はやはり減少します。白魚ほどの稚魚が大阪湾で潮に乗って大きくなって自分の土を求めて穴の

中に入って成長していくのです。今年はいらしいので、来年は更に多くなります。穴子は今多いので、籠に餌をいれておけば勝手に入ってきます。

#### (^ム^ ) 穴子は食欲は凄いですか。何でも食べるんですか？

食用は凄いです。鯛が一番好物です。鯛でも冷凍した鯛でないと、獲れたての鯛だと新鮮で身が固くて、食いちぎれないんです。長もんなので、餌をくわえたらスクリューのように体を回転させて食いちぎります。



#### (^・^ ) 大阪の漁業は昔からですか？

堺が魚業協同組合の発祥の地なんですよ。皆さんが座っているところ位まで波が来ていて、潮が引いて朝学校行くまでにバケツを持ってきたら、子供でもバケツ半分くらいは貝は拾えました。足を踏んでいたら、砂だけ飛んで足だけ入っていくので餅貝を簡単に見つけることもできました。サルボ貝だと、貝の層が三重にも五重にも砂の下にるので、小学生でも泳いで行ってバケツで一回掘っただけでバケツ一杯に取れました。そんな浜が尼崎から絨毯のように広がっていました。無数にいたカボ貝も今は一匹も獲れなくなってしまいました。大阪湾のカボ貝を食べたいと思ったら、有明海に行ってください。大阪のカボ貝を種として有明に送りましたから、有明では生き残っています。今は高級な渡り蟹も浜辺で獲れました。浜辺で足踏みしていると、カレイや蟹もいて、蟹は甲羅のある後ろ側から掴まないとイケないのに、慌てて前から掴むと鉄に指を挟まれたりして痛い目をした上に、取り逃がすこともありました。埋め立てする昭和35年前までは浜は元気で賑やかでした。

#### 砂浜は水を浄化し災害時に緊急物資を陸へ上げる入り口

砂浜は海を浄化するばかりでなく、万が一大阪に大きな震災があり、陸路や空路が遮断された場合、浜辺さえあれば緊急物資を運び込むルートとしても陸上・海上自衛隊共にオーバークラフトなどに救援物資を運んで上陸できるので大切なのです。戦争のときも上陸は砂浜でしょう。岸壁ばかりで陸を覆ってしまうと、阪神大震災のように壊れたら船を着けることができません。浜辺さえあれば、上陸できます。役所に砂場がなければ海の生き物が蘇りませんと、私はこれ一本で声を上げているのですが、耳をかしてくれません。砂があればすべてが育ちます。海も生きますし、海洋生物も生まれ育ちます。すべては砂が解決してくれます。今でもさっき船で入ってきた水路には貝は沢山いますよ。両岸は昔の昔の工法で、遠浅のところに石を入れてそのまま埋め立てしたんです。だからテトラポットの下だけは昔のままの砂が残っています。アサリは沢山いますが、食べては駄目です。沢山食べると人間には害があり体には悪いです。貝は食べなくてもいいんです。虫や海洋生物が生まれ育っていきますから・・・。私も東京に行く度に、横浜やお台場や川崎を見て周りませんが、東京湾は海の環境を考慮して整備しています。大阪といっても甲子園の浜や尼崎の浜はまだありますが、遠浅に囲まれた入り江なので生物は育ちません。やはり、自然な波を受け風を受けたところでないで育たないのです。魚の方が危機感を覚えて、段々と自分の命を守ろうとして、賢くなってきています。

昔は趣味で鉄砲を担いで猪を追って山ばかり走り回っていましたが、事件を起こされてからは竿に持ち替えて、釣りにはサンケイスポーツなどの世話をしているのですが、釣りで夢を釣るなどと勝手な理由を



つけて世界中に釣りにいきました。あまり自慢にはならないですが、オーストラリアには日本人として3つの記録を、ニュージーランドでは一つの記録を持っています。ただ、世界の海も魚が少なくなってきました。二十年前のニュージーランドと今のニュージーランドの海は全く違います。日本や韓国がマグロを大量に食べるようになって乱獲されたので、今は法律で制限しながらマグロを獲っていますが、日本には魚を守る法律がありません。漁師ですから話は上手ではありませんが、海のことはいくらも知っていますので、またおたずねください。有難うございました。

午後1時過ぎ、お腹もすいたところで、炭火焼でさばいたばかりの新鮮な穴子や、熱々の穴子の一本揚げお頭付きに、蛸飯に蟹汁がならび、サザエやホタテ、海老やイカに蛸を焼き上げるいい匂いと笑顔が一杯。3時頃まで楽しく美味しい海の幸を味わう昼食をゆっくりと味わいました。

**参加者：**一般：朝川英美子・和泉雅一・上田みゆき・大塚良子・荻阪直子・門林誠・木下奈美子・黄暎・佐伯恵美子・西口由美・浜澤敏子・松田さとみ・李暎浩・李仁末・松井富美・丸山公子・宮村純子・**塾生：**秋山建人・大川哲治・大森史子・北原祥三・後藤由利子・下野譲・杉山英三・中山恵三・谷福江・浜田真弓・原田彰子・原田貴志・平野康子・深堀正晶・堀結美子・水本光洋・宮本雅彦・宮本麗子・森欣子・米川俊信（敬称略・アイエオ順）

## 堺市魚連とれとれ市

場所：堺市堺区大浜西町2-4 駐車場完備  
電話：072-221-7272  
アクセス：南海本線「湊駅」徒歩約10分  
営業時間：毎週土・日曜日 10時～17時